

安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

▲警告 『死亡や重傷を負うおそれがある内容』です。 ▲注意 『傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

⊘ してはいけない内容です。 ⊕ 実行しなければならない内容です。

▲警告

⊘ 禁止	●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない 傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。 ●コンセントの定格を超える使い方をしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。
⊘ ぬれ手禁止	●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電のおそれがあります。
⊕ 必ず守る	●電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。 ◎電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災のおそれがあります。 ◎傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ●電源プラグを抜く時は、アダプターを持って抜く 電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電のおそれがあります。 ●交流 100 ボルトで使用する 過電圧を加えると、火災、感電のおそれがあります。
⊘ 禁止	●布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしない 火災のおそれがあります。 ●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まない 火災、感電のおそれがあります。
⊘ 分解禁止	●器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電によるけがのおそれがあります。
⊘ 電源プラグを抜く	●異常を感じた時は速やかに電源プラグを抜く 異常状態が収まったことを確認し、販売店または下記のお問い合わせ先にご相談ください。

▲注意

⊕ 必ず守る	●器具には寿命があります 外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。日常の点検をおすすめします。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電などに至る場合があります。 ●お手入れの際は、電源プラグを抜く 通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
⊘ 水ぬれ禁止	●浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しない 火災や、感電の原因となることがあります。 ◎本製品は防湿・防雨型ではありません。
⊘ 禁止	●湿度の高くなるものを器具の近くに置かない 短寿命や、火災の原因となることがあります。 ●調光器と組み合わせて使用しない 調光機能付きスイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ●器具にもたれたり物をぶつけたりしない 器具破損の原因となります。 ●LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

- 推奨環境温度は15℃～30℃です。種まき後の栽培条件、環境により育ち方が異なることがあります。
- 付属以外の種、液体肥料をご使用の場合のトラブルは保証致しかねますのでご了承ください。

お手入れ・保管について

- スイッチをOFFにして電源プラグを抜き、栽培ケースを栽培パネルごと本体から、養液をこぼさないように取り外してください。
- 栽培ケースに残った養液は、一般排水へ流してください。ご家庭の花や、木にまいてもかまいません。
- 栽培ケース、栽培パネル、パネルふたを水洗いし、汚れがひどい場合は中性洗剤などで洗ってください。(中性洗剤は、必ず水で洗い流してください。)水洗い後、自然乾燥させるか、乾いた布で拭き取ってください。ぬれたまま本体に保管すると、サビや腐食の原因となります。本体の金属部分や木製部分は、柔らかい布で乾拭きしてください。(水拭きはしないでください。)

故障かな?と思ったら下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置
LEDが点灯しない	①電源プラグ・ジャックが外れている ②スイッチがOFFになっている	①電源プラグ・ジャックを差込み部に確実に差込み ②スイッチをONにする
使用中にLEDが消える	電源の瞬間的な停電または電圧低下	一旦スイッチを3秒以上OFFにしてから点灯させる

●上記の点検でなお異常のある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店または下記のお問い合わせ先にご相談ください。

アフターサービスについて 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

技術に関するお問い合わせ

LEDが点灯しないなど異常がある場合は右記へお願いします。 TEL 0256-92-7070 (平日 10:00～17:00 土日祝日除く)
オリンピア照明株式会社「灯菜お問い合わせ窓口」 FAX 0256-92-3312

お問い合わせ

付属品・消耗品などオプションのご購入は右記へお願いします。 URL <http://www.motom-jp.com>
オリンピア照明株式会社 [オリジナルブランド「灯菜」Akarina Motom] E-mail sale@olympia-jp.co.jp
TEL 03-5786-0745 (平日 10:00～17:00 土日祝日除く)
FAX 03-5843-1381



灯菜 Akarina

Motom

灯菜(LED照明 + 水耕栽培器)取扱説明書 [OMA05/OMA06]

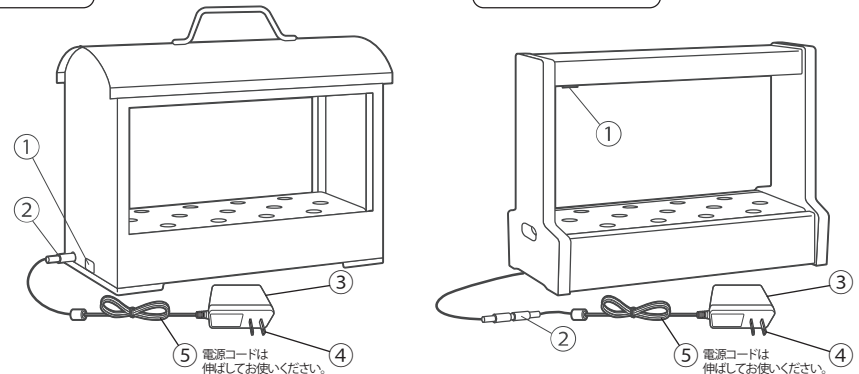
このたびは灯菜をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使い下さい。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用下さい。

OMA05

OMA06



各部の名称

- ①スイッチ
- ②ジャック
- ③アダプター
- ④電源プラグ
- ⑤電源コード

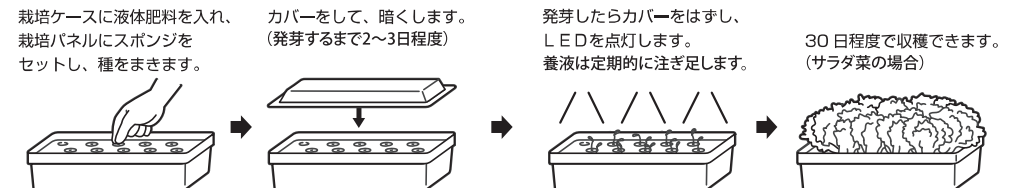
本体寸法	W470×D173×H352	W455×D204×H345
電源入力	AC100V	50/60HZ
電源出力	DC12V	
消費電力	15W	

まず、付属品を確認しましょう。

- 栽培ケース ×1 ●栽培パネル ×1 ●カバー ×1 ●パネルふた ×14
- 培地スポンジ 3 回分 ●取扱説明書 (本紙)
- お試し用液体肥料 ×1 ●お試し用種 ×1 袋

※種と液体肥料はおお客様の利便性を考慮し、一回分をお試しでお付けしております。
※また、弊社ではオプション品として各種種子をご用意しています。
詳しくは <http://www.motom-ec.com> にて「種子セット」をご覧ください。

栽培の流れ

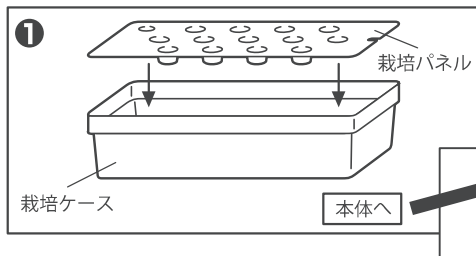


用意する物

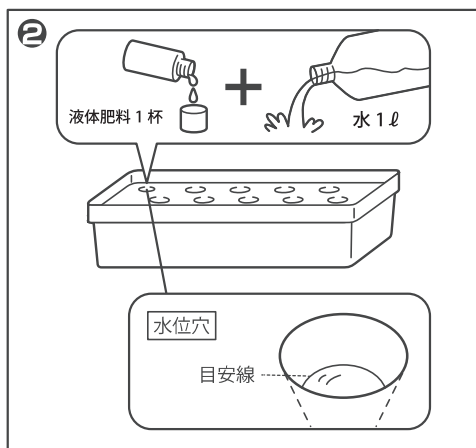
- 本体だけでは栽培はできません。付属品をご使用ください。
- 洗面器などの広口のうつわ、水を注げる水差しなどをご用意ください。
- 1リットル容器、ペットボトルなどをご用意ください。

ご注意

- 40℃以上の所で保管すると液体肥料が漏れ出る可能性があるため、40℃以下の所で立てて保管ください。
- 水は水道水を利用してください。 ●ミネラルウォーターや蒸留水・清涼飲料水などは使用しないでください。

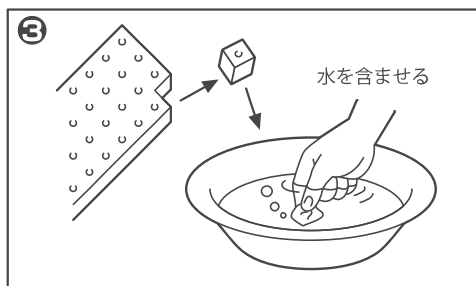


1. 栽培ケースに栽培パネルをセットし、本体に入れます。



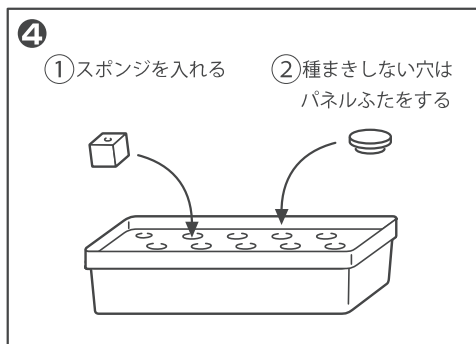
2. 養液を作り、栽培ケースに注ぎます。

- ① 1ℓの水道水に液体肥料をキャップ1杯(5mℓ)の割合で入れ薄めてください。
- ② 作った養液を栽培ケースに注ぎます。
- ③ 栽培パネルをかぶせ、養液を水位穴の目安線に合わせて注ぎます。
※残った養液は、日の当たらない暗くて涼しい場所に保管してください。
※栽培中に水位穴の目安線から養液が下回ったら、目安線まで養液を補充してください。



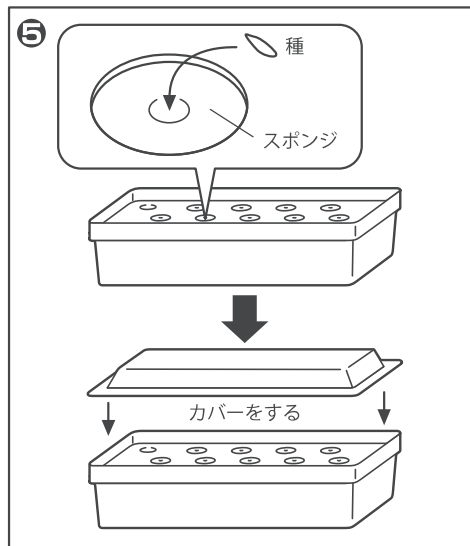
3. 培地スポンジの準備

- ① 種をまく数の培地スポンジを準備します。
培地スポンジは、切れ目に沿って切り離してください。
- ② 洗面器などの広口のうつわに水を入れます。
培地スポンジを水の中で4～5回握って空気を抜き、水を十分に含ませます。



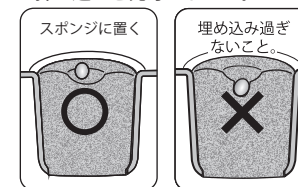
4. 培地スポンジへの植え付け

- ① 栽培パネルの穴に、水を含ませた培地スポンジ、くぼみがある面を上に入れて入れます。
※栽培する植物により、種まきする間隔を決めてください。
※栽培パネル表面と培地スポンジが同じ高さになるように入れてください。
※培地スポンジの押し込みが不足すると、スポンジが液体肥料を吸い上げないため、種が発芽しない事があります。
- ② 種まきしない穴は、付属のパネルふたをしてください。
水位穴は栽培中の液体肥料の量を確認する穴ですので培地スポンジを入れないでください。



5. 種まき

- ① 種を培地スポンジのくぼみの中央に置いてください。
※種はスポンジの中に押し込まないでください。
押し込むと発芽しません。



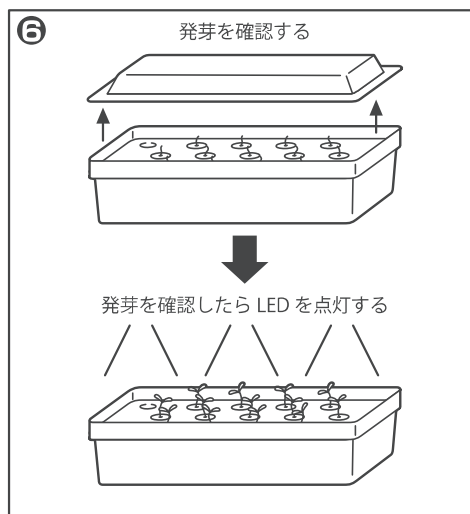
- ② 発芽するまで、カバーをして暗くして温度を保ってください。

◆ 種まき時のご注意

- ※ひとつの培地スポンジに、1個の種をまいてください。
複数まくと成長しない場合があります。
- ※スポンジに充分水を含ませないと発芽しないことがあります。
1回の栽培で1種類の種をまいてください。
- ※違った種類の種を混ぜてしまうと、発芽しない事があります。
- ※パネルふたをしないと、緑色の藻が発生しやすくなります。
- ※発芽するためには、植物により適切な発芽温度が異なります。
ほとんどは20℃前後で発芽しますが、市販の種を栽培する場合は種の袋に記載してある発芽温度を参考にしてください。
- ※養液や水をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。
サビや腐食の原因になります。

6. 種の状態を確認する

- ① 種まき後、毎日発芽の確認を行ってください。
種が割れて、黄緑色の芽が少しでも見えたらカバーをはずしてください。
※発芽するまでの日数は、栽培品種や温度条件で異なります。
※約20℃の室温での発芽日数：
ルッコラ1日程度・サニーレタス2日程度・バジル4日程度
※種の入った袋に記載している有効期限は発芽率を維持出来る目安の日付です。
- ② 本体にアダプターのジャックを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ③ スイッチをONにしてLEDライトを点灯します。
(目安として1日16～18時間程度点灯してください。
日中が適しています。)
別売の24時間タイマーを接続する事も可能です。
※24時間点灯しても、サニーレタスなどのレタス類、ルッコラ、バジルなどのハーブ類は育ちますが、ホウレンソウなど、育たない植物もあります。
※植物に必要な点灯時間(光の量)は、設置環境によっても異なります。成長が遅い場合は、点灯時間を長く設定してください。



7. 育成と収穫

- ① 育成状態により、レタスなどの葉が混んできたら、間引きを行うか、大きくなった葉を摘んでください。
 - ② 収穫
 - 株収穫：適当な大きさになったときに株ごと収穫します。
 - 葉積み収穫：大きくなった葉を順次収穫し、中央の新芽を残す方法です。ペビーリーフやルッコラなどのハーブが適しています。
- ※新しい芽が出てくなくなった場合、全部収穫して種まきから始めてください。